

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 一回線送電線のため一回線設備容量を記載
 ※2 一回線故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 基幹系ループ系統のため
 #2 一回線送電線のため
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

2020年3月13日 更新

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	備考
							当該設備	上位系等考慮			
H 001	朝日小川線	154	1	76	76	熱容量	19	5	不可 #2	-	※1
H 002	新愛本黒部線	154	2	272	136	熱容量	79	5	不可 #2	-	
H 003	黒部江口線	154	2	272	206	熱容量	73	5	可	66	※2
H 004		154	2			熱容量	136	5			◇
H 005	東魚津支線	154	1	214	214	熱容量	214	5	不可 #2	-	※1
H 006	舟橋江口線	154	2	572	502	熱容量	330	5	可	70	※2
H 007		154	1			熱容量	15	5			◇
H 008	折立線	154	1	101	101	熱容量	83	5	不可 #2	-	※1
H 009	和田川連絡線	154	1	51	51	熱容量	6	5	不可 #2	-	※1
H 010	有峰幹線(山)	154	2	304	238	熱容量	63	5	可	66	※2
H 011	有峰幹線(里)	154	2	428	350	熱容量	46	5	可	78	※2
H 012	舟橋線	154	2	684	469	熱容量	5	5	可	215	※2
H 013	栃尾線	154	1	101	101	熱容量	75	46	不可 #2	-	※1
H 014	葛山線	154	1	123	123	熱容量	71	46	不可 #2	-	※1
H 015	中部連絡線	154	1	101	101	熱容量	101	46	不可 #2	-	※1
H 016	東町支線	154	2	246	123	熱容量	88	46	可	123	
H 017	見座線	154	2	246	183	熱容量	46	46	可	63	※2
H 018	牧線	154	2	308	238	熱容量	60	60	可	70	※2
H 019		154	1			熱容量	0	0			◇
H 020	神通第一線	154	2	246	123	熱容量	31	31	不可 #2	-	
H 021		154	2			熱容量	145	67			◇
H 022	有峰第一線	154	2	536	456	熱容量	67	67	可	80	※2
H 023	北笹津線	154	2	1,014	760	熱容量	760	102	可	250	※2
H 024	富南線	154	2	536	268	熱容量	268	73	不可 #2	-	
H 025	新富山北笹津線	154	2	1,030	751	熱容量	102	102	可	250	※2
H 026	富山線	154	2	890	668	熱容量	73	73	可	222	※2
H 027	火力富山線	154	2	1,000	729	熱容量	304	73	可	250	※2
H 028		154	1			熱容量	25	25			◇
H 029	草島新港線	154	2	506	405	熱容量	218	73	可	101	※2
H 030	火力塚原線	154	2	572	286	熱容量	241	110	不可 #2	-	
H 031	富山新港火力線	154	2	1,180	590	熱容量	226	110	可	250	
H 032	塚原線	154	2	536	463	熱容量	122	110	可	73	※2
H 033		154	1			熱容量	38	38			◇
H 034	塚原伏木線	154	2	1,014	507	熱容量	507	110	不可 #2	-	
H 035		154	1			熱容量	185	0			◇
H 036		154	1			熱容量	99	0			◇
H 037		154	1			熱容量	38	0			◇
H 038	新能登線	154	2	536	268	熱容量	268	0	不可 #2	-	
H 039	中能登新能登線	154	2	1,072	925	熱容量	692	0	可	147	※2
H 040	鳳至線	154	2	506	253	熱容量	0	0	可	134	
H 041	南福岡線	154	2	536	463	熱容量	463	110	可	73	※2
H 042		154	2			熱容量	25	25			◇
H 043	北金沢線	154	2	536	463	熱容量	370	110	可	73	※2
H 044	御所線	154	2	968	484	熱容量	477	434	可	250	※2
H 045	南金沢線	154	2	1,708	1,326	熱容量	930	434	可	250	※2
H 046	笠間線	154	2	1,014	811	熱容量	811	434	可	203	※2
H 047	新小松線(北金沢)	154	2	428	214	熱容量	214	214	不可 #2	-	
H 048		154	2			熱容量	105	105			◇
H 049	新小松線(新小松)	154	2	428	350	熱容量	350	350	可	78	※2
H 050	手取幹線	154	2	536	463	熱容量	96	96	可	73	※2
H 051	第二福井火力線	154	2	536	268	熱容量	268	268	不可 #2	-	
H 052	福井火力線	154	2	856	699	熱容量	395	338	可	157	※2
H 053	北庄線	154	2	856	699	熱容量	338	338	可	157	※2
H 054	松岡連絡線	154	2	536	462	熱容量	219	219	可	74	※2
H 055	九頭竜幹線	154	2	428	214	熱容量	48	48	不可 #2	-	
H 056		154	2			熱容量	99	48			◇
H 057	福井幹線	154	2	270	135	熱容量	135	135	不可 #2	-	

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	備考
							当該設備	上位系等考慮			
H 058	北庄丹生線	154	2	536	268	熱容量	205	0	不可 #2	-	
H 059	新武生丹生線	154	2	536	462	熱容量	422	0	可	74	※2
H 060	南条新武生線	154	2	2,026	1,142	熱容量	1,142	0	可	250	※2
H 061	敦賀線	154	2	308	154	熱容量	75	0	不可 #2	-	
H 062		154	2			熱容量	106	106		-	◇
H 063	御所北金沢支線	154	2	832	416	熱容量	416	110	不可 #2	-	
H 101		275	2			熱容量	119	0			◇
H 102		275	2			熱容量	173	0			◇
H 103		275	2			熱容量	37	37			◇
H 104	新富山幹線	275	2	1,320	1,040	熱容量	110	110	可	250	※2
H 105	中央幹線	275	2	1,320	1,040	熱容量	110	110	可	250	※2
H 106	加賀東金津線	275	2	1,320	1,040	熱容量	694	566	不可 #1	-	※2
H 107	東金津新福井線	275	2	1,320	1,040	熱容量	717	566	不可 #1	-	※2
H 108	越前線	275	2	1,808	1,447	熱容量	1,161	566	不可 #1	-	※2
H 109	南条越前線	275	2	1,808	904	熱容量	0	0	可	250	
H 110	敦賀火力線	275	2	1,808	904	熱容量	0	0	可	250	
H 201		500	2			熱容量	1,986	1,986			◇
H 202	能登幹線	500	2	6,580	4,936	熱容量	3,131	2,682	不可 #1	-	※2
H 203	能越幹線	500	2	6,580	4,936	熱容量	3,650	2,682	不可 #1	-	※2
H 204	加賀福光線	500	2	6,580	4,936	熱容量	3,950	2,682	不可 #1	-	※2
H 205	加賀幹線	500	2	5,568	4,541	熱容量	2,682	2,682	不可 #1	-	※2